

# 八幡平市

## 日本文化を学ぶタイの学生が交流深める

タイ国のタマサート大学で日本語を専攻する学生など12人は、10月25日から11月4日まで本市を訪れ、市民と交流を深めました。この交流は今年で11回目。旧西根町で岩手山焼走り国際交流村の整備をしたことをきっかけに、交流が始まったものです。

今回、市を訪問したのは、ウィーラワン先生と学生11人。



今回訪問したタマサート大学の学生11人。浴衣に着替えて華道と茶道を体験しました



日本語で談笑しながら交流を深める参加者

一行は、市ホストファミリーの会などの家にホームステイしながら、日本の生活文化を体験しました。

10月29日には西根地区市民センターで、日・タイ文化交流会を開催。両国の料理を食べながら、郷土芸能を発表し、楽しいひとときを過ごしました。11月2日には田頭公民館で、浴衣に着替えて華道と茶道を体験。作法を学びながら「日本の心」に理解を深めました。参加したスイワーポン・セイースワンさんは「八幡平市の自然は美しく、市民はとても優しい。また日本に來たい」と、上手な日本語で話しました。

松尾相撲スポーツ少年団は10月27日、松尾八幡平駅から盛岡駅までの道路を歩くチャレンジウォークを行いました。これは、一年間の体力づくりの成果を確かめようとする行われ今年で6回目。2〜6年の小学生7人と保護者など6人が参加しました。4回目の挑戦となる松野小4年の高橋優香さんは「前回より早く着きたい」と足取り軽やかに前進。一行は、午前6時15分に出発し、約11時間でゴールしました。

## 盛岡駅まで11時間で完歩し自信みなぎる



道の駅にしね付近の国道282号を元気づよく通過する一行



安比塗の漆器で給食を楽しむ田山小の児童たち

市内の学校一斉参観日が行われた11月1日、田山小学校では安比塗を使った学校給食会が開かれました。これは、食育教育に合わせ、地場産業に理解を深めてもらうと開催。1、2、6年生と授業に協力した地域のお年寄り、食生活改善推進員が参加しました。わん2個、皿、はしの美しい給食用漆器に盛り付けられた料理に、2年生の佐藤優有さんは「いつもよりおいしく感じるね」とにっこり。

## 安比塗を使った給食でおいしさもアップ